

個別課題:緩和ケアスクリーニング及び栄養指導の強化
(令和元年7月1日～12月末日)

施設名:	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
51 第二大阪警察病院	<p>がん患者の全人的苦痛を知り、必要な支援を提供する。 緩和ケアの必要な患者さんへ総合的なアプローチを行いQOLの維持ができるように支援する。 (特に、治療期や終末期がん患者の食事へのニーズを知り集学的な支援につなげる。)</p> <p>緩和ケアスクリーニング 1000件 目標</p> <p>がん患者の栄養指導の強化 50件/年 目標</p>	<p>緩和ケアスクリーニング実施 ・スクリーニングだけでなく、その後のケアや援助につなげる。</p> <p>がん患者の入院時、化学療法開始時、放射線治療時など予防的な栄養指導から問題が生じた場合の栄養指導などのスクリーニング体制を構築する。</p>	<p>・緩和ケアスクリーニング、1115件/4月～12月で、病院移行・診療科編成にて件数は減少しているが、数字的目標達成は行えた。 ・スクリーニング後のケア・援助に関しては、対応必要な患者の医療スタッフの意識向上には繋がっている。</p> <p>・がん患者の栄養指導を7月から運用開始とし平均15件/月の栄養指導を行い、目標はほぼ達成出来ている。</p>	<p>・病院・診療体制の編成により今後、緩和ケアスクリーニングの方法、タイミング、スクリーニング後のフォロー体制など病院方針により検討していく必要がある。</p>